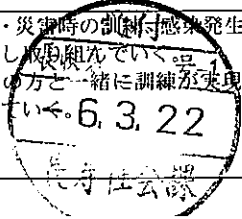


法人名	メディカ・サホート株式会社	代表者	厚海洋一	法人・事業所の特徴	・ご利用中の皆様と職員が共に支えあい、「できる事は自分で！」の精神で、生活が継続できるよう、日々頑張つて過ごしています。 ・専門職に助言いただき、個別リハビリ、生活の中でのリハビリに取り組みんでいます。
事業所名	小規模多機能はうすつどい	管理者	道野みのり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の担当職員、ケアマネが中心となり、お一人お一人に合った支援を提供する為、毎月ご利用者3名の課題解決を話し合い、情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネからの書面、口頭での情報を密にし、毎週の金曜日のケースカンファレンス、定例カンファレンス、その他必要に応じてカンファレンスを行い課題解決に取り組むことができた。引き続き継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の情報共有は必須です 熱心にミーティングをされ、問題点の検討、改善、向上への姿勢は評価する。 カンファレンスの実施について推進会議で報告あると評価しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人が自分の担当ご利用者様の現状、変化に常に目を向けて、課題解決の為に積極的なカンファレンスの実施を行う。 ケアマネとの情報を密にし、連携を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの事業所も地域の一員として「誰もが行きやすく相談しやすい施設」作りに努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナが5類になったものの、行事等も、いつでもどうぞとはならなかった。今年度は、事業所のなかを見学できる機会を作る必要を感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍前に戻そうと努力されているのがわかります。新しい基準づくりを期待します。 感染症予防の為見学が0難しいのであれば写真などでお知らせ頂ければよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所も地域の一員であると自覚し、誰もが行きやすい施設づくりに努めていく。 行事の内容によっては、地域の方に参加していただけるよう声を掛けていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> PR活動の再開として、地域向けの「ケアタウン会報」を作成し配布する。 地域の皆さんと交流できる、夏祭りやサロン活動の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域向けの「会報」を作成、PR活動を2回配布することができた。 コロナ状況でサロン活動の実施はできなかったが、夏祭りは開催でき地域の皆様と交流ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍では改善は難しかったと思いますが、感染症に注意しながら地域との関りを継続していきましょう。 公民館祭りに出展。心温まる作品としました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に参加、または地域の皆さんと交流できる、夏祭り、サロン活動の実施。 PR活動として、地域に向けて会報を作成、職員が順番に配布する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様、一人ひとりの地域に出かけ、応援団（見守り・緊急時の連絡をくださる方）を再度把握する。そして、利用者様毎に現状プラス1名以上応援団を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様が生活を継続していくには、社会資源が不可欠であると、職員一同自覚し、応援団を増やす取り組みができた。引き続き継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様をめぐる周囲の状況を見極めながら、地域の応援団を増やす取り組み、特に勉強会などが評価できる。 勉強会などの情報を報告してもらえると、事業所の取り組みを外部にお知らせできると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の方が生活を続けるためには、社会資源の必要性を認識しそれぞれのご利用者様の地域を知り、応援団を増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営推進会議を活用し、地域の皆様・行政の方々事例検討会を行い、認知高齢者の皆様が住み慣れた地域で生活が続けられるよう協力して一緒に取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営推進委員会を活用して地域の皆様、行政の方々と困難事例検討会を行い、意見交換をし、認知高齢者の皆様が地域で生活が続けられるよう一層の取り組みができた。引き続き継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討は多く取り上げられていたと思います。 「外部評価のやり方」を運営推進会議の中で議論して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営推進会議のやり方を見直し、内容の充実を図る。 地域の皆様、行政の方々事例検討をし、認知高齢者の皆様が地域で生活が続けられるよう協力して取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の訓練、感染対応発生時時の訓練も繰り返し取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内では訓練を実施できたが、コロナの影響、地域の皆様に協力頂き、実施することはできなかった。訓練は、繰り返し取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災に関する情報、実態が開示されていないので評価が難しい。 館内の見学も、運営会議の重要議題として取り上げてほしい。 防火訓練の声掛けもあると参加できると思います。訓練の写真でも良いです。 	<ul style="list-style-type: none"> 防火・災害時の訓練も繰り返し取り組んでいく。 地域の方と一緒に訓練が実現するよう声を掛けていく。



1. 初期支援 (はじめのかかわり)

9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	4人	0人	9人

前回の改善計画

・ご利用者様の担当制としていますが、まずは、自分の担当ご利用者のことを把握し、しっかりと関わることから取り組み、問題点・わからないことは定例カンファレンスで話し合うようにし、情報共有を図る。
 ・全職員が意識し、定例カンファレンスの全員参加を目指す (新年度は6回、全員参加を目指す)
 ・初回面談時に職員が交代でケアマネと一緒に出掛け、家族とコミュニケーションをとる機会を作る。

前回の改善計画に対する取り組み結果

・事前情報を確認し、わからないことは他職員に聞くようにし情報把握に努めた。
 ・情報共有が図れるように、新たに伝言板を作成し情報を頭にいれるようにした。
 ・利用開始から1か月後に、振り返りで話し合いをするよう努めた。
 ・ケースカンファレンス等話し合いの場を設けることはできたが、職員間で意見交換とまではいかず、決まった職員しか発言がない状況だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	6人	2人	0人	9人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0人	5人	4人	0人	9人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1人	8人	0人	0人	9人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0人	4人	5人	0人	9人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・「訪問」を利用し、在宅生活がけいぞくできるよう支援を続けている。
- ・利用してから1ヶ月後に、振り返りを行い問題点等話し、情報共有し次につなげている。
- ・初日利用時は、担当を決め、その職員が中心となり関係づくりに関わっている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・その日の業務に追われ、ゆとりが持てず職員間での声かけができない。
- ・情報量が多すぎて頭に入っていない。
- ・自分が提供する支援に自信が持てず、利用者やご家族に対し支援提供ができなかった。
- ・専門職としての役割が果たせていない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・限られた職員数でも、円滑に業務が進行するよう業務改善委員を立ち上げ、業務の見直しをする。
- ・情報を把握することは仕事をししていく上で必須、皆が同じように頭に入るよう職員間で意識して声を掛け合い、「自分は知らない・できない」精神をなくす。
- ・職員と上司の面談を行う中で、介助方法等について相談する機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和5年11月17日(16:50から18:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

クバー

9

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	6人	3人	9人

前回の改善計画

・ケアプラン・小多機プランについて勉強会を開催する(年3回カンファレンス時)
 ・コミュニケーション技術の研修会に参加する。
 ・職員から自発的に活発な意見がでるよう定例カンファレンス時に順番にテーマを決めて話す機会を作る。

前回の改善計画に対する取り組み結果

・小多機プランへの認識が薄く、職員間で理解に差がある。わからなくても、聴こうとする姿勢もない。
 ・毎週金曜日にミニカンファレンスの時間が確保できるようになったが、担当職員が何を話し合うべきか理解ができていない、進め方もわからない職員が多数いることがわかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0人	3人	5人	1人	9人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0人	3人	5人	1人	9人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目標した日々のかかわりができていますか?	0人	1人	7人	1人	9人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0人	3人	6人	0人	9人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・小多機プランをみて、実践できるようになってきた。
 ・まずは、自分の担当のご利用者様から、しっかりと関わるようにしている。
 ・利用者様に関わる中で、必要なことは担当職員に伝えるようにし、話し合う機会を作るように努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・担当に関わらず、利用者様への関りが薄いと感じている
 ・自身のコミュニケーション不足・技量不足・アイデア不足で、利用者様とうまく関われない。
 ・業務に追われ、一人ひとりに向き合う時間が少ない。
 ・利用者様の「できること」、「できないこと」がわからず、どこまで手を出せばいいのか判断できない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・認知症高齢者を理解し、ご利用者様とコミュニケーションを図れるよう外部の研修に参加し、技術を磨く
 ・利用者様の「できること」、「できないこと」を話し合い、全職員で共有する(月に1回カンファレンス時)
 ・偶数月の定例カンファレンスで管理者が作成した事例をもとに勉強会を行う

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和 5 年 11 月 21 日 (17:00~18:00)

3. 日常生活の支援

欠席

9 人

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	1 人	3 人	5 人	9 人

前回の改善計画

- ・会社の中で「介護実技コンテスト」を行っているが、そこに参加し介護技術を磨く(10~11月)
- ・「認知症ケア」に関する外部研修に参加し、スキルを磨く

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・介護技術コンテストの開催はなかったが、その機会を利用して自分の技術を振り返ることができている。
- ・外部研修の案内をしたが、「行きたい」と言ってくる職員は 0 人だった。
- ・研修には行かなかったが、日々の話し合いの中でスキルを磨くよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0 人	1 人	5 人	3 人	9 人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1 人	7 人	1 人	0 人	9 人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0 人	1 人	7 人	1 人	9 人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1 人	6 人	2 人	0 人	9 人
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0 人	7 人	2 人	0 人	9 人

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の状況や状態に合わせて、食事形態やサービス利用の仕方は検討しながら柔軟に対応している。
- ・職員間の情報共有のため、連絡ノートや掲示板・伝言ボードを活用しながら共有できるよう努めている
- ・利用者様の変化に気づいたときは、すぐに他職員間で情報共有し合っている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・状況変化に気づかず、指示がないと動けない職員がいる。
- ・利用者様の声なき声に気づいても、受け止め方が違い、どう動いていいのかわからない。
- ・業務に追われ、職員に、気持ちのゆとりが持てず、利用者様としっかり関わることができていない

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・日々の業務は、限られた人数で行わないといけない、職員全員が、同じように業務を回せるよう、先輩職員が後輩職員をしつかりしていき、「わからない」をなくす。
- ・まずは、自分の担当利用者様のことを知ることから始める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月21日 (17:00~18:00)

4. 地域での暮らしの支援

×/○/-

9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	2人	6人	9人

前回の改善計画

・地域資源の勉強会(月に2回の金曜日 17:00から30分間)

・独居や高齢者世帯の住んでおられる地域の方々に「協カカード」を配布し、地域の協力者を増やす。

前回の改善計画に対する取組み結果

・地域資源の勉強会は行えなかったが、ミニカンファの時間を利用して、利用者一人ひとりの取り巻く環境を話し合う時間を持ったことで、生活していく上で必要な人だったり者だったりを知ることができた。
 ・新しく入った職員は、「協カカード」の存在を知らなかった。
 ・送迎時に、ご近所の方々を見かけても、自分から声をかけていくことはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0人	1人	7人	1人	9人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0人	4人	3人	2人	9人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	2人	7人	0人	9人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	2人	3人	4人	9人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用の長い人は、ご近所さんなど、応援団になっていただけの方々の把握はできたが、新しい利用者様は、これから関係づくりをしていく。
 ・熱中症対策として、この夏は通い利用でない日の利用者様には、電話をかけ水分補給の必要性を声かけしたことで、少しだが、自宅内で過ごす様子を知ることができた。
 ・家族会を開催し、ご家族と話し合う時間が持たせたことで、利用者様のことを、より知ることができた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・何事も、「わからない」「聞いていない」で終わってしまう職員が多く、自分でその先を考え、行動する職員が少ない。
 ・通いの時間に目に映る、利用者様のことしか把握せず、それ以外に自宅で過ごす長い時間を把握しようとする職員が少ない。
 ・利用者様、そのご家族と自分からコミュニケーションをとろうとする職員が少ない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・カンファレンスで「仕事の在り方」について、話し合う(4月のカンファレンス)
 ・利用者の通ってこない時間の過ごし方を、ケースカンファレンスを利用し、話し合う。
 ・外部のコミュニケーション技術研修に参加し、誰とでも気軽にしゃべれるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月21日 (17:00~18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	3人	3人	9人

前回の改善計画

・「小規模多機能型居宅介護」を理解するために、日々実践し、外部研修も受け、習得していく。

・気づきがあった場合は、ケースカンファレンス等で他職員にも伝え、共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・外部研修に参加し、伝達講習することで気づきがあり業務内で提案することができた。

・職員間で、「訪問」の認識が不十分で理解力にばらつきがあった、また自分で考え行動する力がまかかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0人	2人	6人	1人	9人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	4人	4人	0人	9人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0人	7人	2人	0人	9人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	8人	0人	0人	9人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者様の状態に合わせて、通い・訪問、必要ならその場で泊まりを入れたりと、柔軟に対応できている。
- ・職員間でどうしたら情報共有ができるか話し合い、伝言板を作成することで、その日の情報把握がしやすくなった。
- ・地域の皆さんが協力者になることを理解できている職員は、自分から地域の方々に声がけができるようになった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・日々、利用者様の様子をみているのに、大きなことにならないと行動できない。
- ・職員間で、理解力・判断力に差があり、柔軟にサービスを使い分けることができない。
- ・「小規模多機能」を理解できない職員がおり、研修に行ったり、先輩から助言をもらい現在勉強中
- ・業務に追われ、利用者様のことを見る余裕が持てない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・上司やケアマネから指示される前に、利用者様の現状を把握し、必要なサービスを必要時に提供できるよう勉強会を行う。(ケースカンファレンス時)
- ・自分の勤める職種がどういった職種なのか、理解が難しいのであれば、内部で勉強会を開催し、また、外部の研修なども利用して知識を持つ。
- ・業務のせいにせず、たとくとも、利用者様に目が行き届くよう繰り返し学ぶ
- ・小規模多機能型居宅介護について繰り返し勉強会を開き理解する(金曜日のケースカンファレンスにて)

6. 連携・協働

メンバー

9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	0人	7人	9人

前回の改善計画

- ・地域包括支援センターの方々と協力して地域へのPR活動を継続する。
- ・自分たちの足で歩いて地域の状況を知る。(事業所周辺・利用者宅周辺)

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・夏に、地域に向け、熱中症予防の声かけと事業所のPR活動を実施した。
- ・コロナは5類になったが、地域へ利用者様と出かける機会は少なかった。
- ・日々の業務に精いっぱい、自分達の足で、地域の状況を知る機会は持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① その他のサービスマニュアル (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか？	0人	1人	1人	7人	9人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0人	2人	1人	6人	9人
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？	0人	5人	1人	3人	9人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0人	1人	2人	6人	9人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ケアプラン作成時は、他職種が集まって担当者会議を開催している。
- ・地域包括との会議には、主にケアマネが参加している。
- ・地域の公民館祭・体育大会・清掃には、いつも参加している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・日々の仕事に追われ、地域に向けての活動ができていない。
- ・職員一人ひとりが自ら、地域に出ていくという意識が欠けている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・テーマを決め、職員で地域に向け、何か行動を起こしてみる。(4月から6か月以内)
- ・利用者様の散歩の機会等、利用して、全職員が交代で地域を歩いてみることから始める。

7. 運営

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	5人	3人	8人

前回の改善計画

- ・全職員が「事業所のあり方」を学ぶ意味で、定例カンファレンス時に、職員が交代で司会・進行役をし、当事業所の「地域の中での役割」について15分話し合う時間を持つ。(偶数月のカンファレンスにて)

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・カンファレンス開始前に、事業所の理念を唱和し、その内容について話し合う機会を持った。
- ・カンファレンス時に時間をとって話し合っていることさえ忘れてしまっている職員がおり自分達の役割への認識が薄い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0人	4人	2人	2人	8人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	5人	2人	1人	8人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	2人	5人	1人	8人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0人	0人	5人	3人	8人

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・満足度調査を行い、家族会を開催し、ご家族との意見交換の場を設け、貴重なご意見をいただき運営に反映するよう努力している。
- ・事業所玄関に「意見箱」を置き、相談・苦情はいつも受け入れられるように整えている。

できていない点

200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・「事業所のあり方」について、真剣に考えている職員は少ないので意見等でも必要ない。
- ・「地域から必要とされる施設」となるには、PR活動がもっと必要。
- ・職員一人ひとりが地域のことを考えて仕事をしているかは疑問、指名され、仕方なく出かけているように見える。自ら、関わろうとする姿勢が見えない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・地域に向けPR活動の継続
- ・職員の意識改革が必要(4月・5月のカンファレンス時)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施
日

令和5年 11月 24 日 (16:45~17:45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	1人	1人	8人

前回の改善計画

・業務を見直し、毎週金曜日は時間の確保(30分)ができたので、質の向上のためにテーマを決め勉強する機会としていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・時間の確保はできたが、毎回テーマに沿って、進行することに慣れていない職員が多く、まだまだ体験してみることが必要と感じた。
・事故報告書の改善策については、話し合うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0人	2人	4人	2人	8人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0人	0人	1人	7人	8人
③ 地域連絡会に参加していますか	0人	1人	2人	5人	8人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	0人	2人	6人	0人	8人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・新型コロナウイルスも5類となり、各種研修に参加する機会が持て、研修の伝達講習も行えた。
- ・地域の連絡会は、施設長やケアマネが主になって参加している。
- ・リスクマネジメントには取組んでいるが、なかなか結果を出すことができず、同じ失敗を繰り返している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自ら、「研修に行きたい」という質の向上を目指す職員は少ない。
- ・会議をしても、意見を言う職員は限られ、なぜか、皆、下を向いている会議が多い、それでも指名すると口は開く。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・カンファレンス等の司会進行を職員が交代で行い、自分達で限られた時間のなかで意見交換し、業務に活かす話し合いを行う(奇数月のカンファレンス)
- ・会議をする際、全員が意見を言えるよう、上司と職員の面談時を利用して学ぶ機会とする。

9. 人権・プライバシー

ワガー

8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	5人	2人	8人

前回の改善計画

・身体拘束委員会を定期的(6・9・12・3月)に開催し、職員間で身体拘束や虐待についての意識を持つよう活動していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・アンケート調査をし、「虐待」についての意識調査は行った。
 ・身体拘束委員として委員会の開催は、全くできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	1人	7人	0人	0人	8人
② 虐待は行われていない	6人	2人	0人	0人	8人
③ プライバシーが守られている	1人	7人	0人	0人	8人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	0人	1人	0人	7人	8人
⑤ 適正な個人情報情報の管理ができている	0人	8人	0人	0人	8人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員全員が、「拘束」や「虐待」はしないという意識を持ち仕事をしている。
- ・個人情報などの管理は施設できる場所に保管し、個人名が記載してある者は、シュレッダーにかけ適切に管理している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・身体拘束委員会を立ち上げたが、委員の意識が薄かったのか、日々の業務に追われ、時間の確保ができなかったのか活動が全くできていかなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・日々の業務は忙しいが、その中で3か月に1回身体拘束委員会を開催する。(4月・7月・10月・1月)